|  |
| --- |
| 第1回災害対策委員会議事録 |
| 日　時 | 平成26年12月13日（土）１３：３０～１６：００ |
| 場　所 | 三重県立こころの医療センター |
| 参加者 | 多度あやめ病院辻Psw・水沢病院和田Psw・障がい者総合相談支援センターあい中村Psw・こころの医療センター澤井Psw・南勢病院森本Psw・志摩市障がい者相談支援センターこだま岡Psw・鈴鹿さくら病院戸口（書記） |
| 欠席者 | 上野病院藤岡Psw・尾鷲ブロック（保留） |
| 議　題 | 1. 各ブロック委員の自己紹介
2. 三重県災害対策委員会の趣旨について
3. 災害対策委員の活動内容について
4. 今後の予定について

５．その他 |
| 議事内容 | 1. 自己紹介
2. 三重県災害対策委員会の趣旨について

日本精神保健福祉士協会のガイドラインに則り、各都道府県に災害対策委員を設置することとしており、三重支部としてPsｗ戸口が選出されている。三重支部の活動に対し各ブロック災害対策委員を選出し、三重県内の平常時及び災害時に情報共有ができるように各ブロック1名以上の災害対策委員を立てることとなった。1. 災害対策委員の活動内容

今後、日本精神保健福祉士協会のガイドラインに則り、三重県支部の災害対策マニュアルを作成し、災害時の具体的な活動や平常時からの体制整備、他Psw及び患者や利用者の災害対策の知識の普及啓発などを行えるようにしていくこととする。今年度は各ブロックの災害対策委員を選出災害対策委員会の立ち上げ災害対策委員の情報共有ツールとして、メーリングリストを作成（ネットでの情報共有のため、送信内容に配慮すること）また、委員間で連絡を取り合えるように携帯電話番号の交換任期は協会役員に準じ２年とし、委員変更は現任者が後任に依頼し、後任者は残任期間を引き継ぐ　　≪検討事項≫　　・災害対策の活動予算について　　　活動内容が具体的になっていない現状なので予算を立てるのは難しいが、活動を進めていくにあたって、研修や出張、派遣、義援金、その他雑費などの経費に予算をいくらか確保しておきたい。　　　まずは、三重支部で災害対策委員会に割り当てられるか相談し、次年度はとりあえずその予算でやりくりをしていく考え。　　　また、活動費及び義捐金等の確保のために、研修等の集まる機会に募金箱を設置し増やしていくことはできないか、役員会で確認し承認されたら実施していく。　　　さらに、年間予算、募金などで集められたお金について、今後の活動費（研修費や災害活動、義援金など）として貯めておくことができるのか。　　・災害時の義援金入金の際など金銭管理などの受け取り口座について　　　協会口座で管理するのか、災害対策委員会専用の口座を開設し、予算や募金、義援金などを管理していくかどうか、役員会で協議する。　　・マニュアル作成にあたり、三重県の他の職能団体などの情報、他の都道府県の作成したマニュアルを参考にしたいと考え依頼をかける。　　　（各委員がアンテナを張って、情報収集に努めるが、メーリング使って戸口から発信依頼する）。　　・災害時、委員が情報収集した後、その情報を元に他の団体等と連携をしていくことが大切ではないかと考える。例えば、病院協会、医師会、施設団体、三重県などと情報共有することで被災箇所でのコーディネートがしやすくなる。また、県などの編成するチームへ協力することも可能となるのではないか。　　　今後、連携ができるよう手段を整えていく。　　・予算（余談）については、日本精神保健福祉士協会のように、県Psw協会も引き落としとできないのかと意見が上がる。1. 今後の予定ついて

マニュアル作成と予算等の検討を行うため、当面は定期的に委員会を開催する行く行くはメールでの共有を主に活動する予定次回は平成27年2月14または28日で調整（過半数出席が条件とする）場所はこころの医療センターに依頼５．その他　　12月14日の役員会にて報告及び確認を行う |
|  |  |